

測定公園リスト(2016年8月～11月測定)

頁	市町	公園名	空間線量	測定日	頁	市町	公園名	空間線量	測定日
2	和光	和光樹林公園	0.056	8/15	11	ふじみ野	東原親水公園	0.053	11/20
3		広沢原児童公園	0.050	8/14	11		福岡中央公園	0.046	11/20
3		柿の木坂児童公園	0.060	8/14	12		西ノ原中央公園	0.049	11/20
4	朝霞	せせらぎ公園	0.044	8/14	12	御伊勢塚公園	0.042	10/21	
		朝霞中央公園	0.051	10/10	13	健康ふれあい広場	0.051	10/23	
		滝の根公園	0.043	10/10	13	川越水上公園	0.057	10/21	
5	朝霞	内間木公園	0.053	10/10	14	川越	伊佐沼公園	0.054	10/23
		北朝霞公園	0.042	10/10	14		スポーツパーク福原	0.052	10/21
		青葉台公園	0.049	10/10	15		初雁公園	0.050	10/23
6	新座	朝霞の森	0.038	10/10	15	川越運動公園	0.061	10/23	
		城山公園	0.044	10/10	16	笠幡公園	0.040	10/21	
		新座総合運動公園	0.048	11/7	16	鶴ヶ島総合公園	0.049	11/3	
7	志木	野火止公園	0.041	11/7	16	鶴ヶ島	脚折近隣公園	0.051	11/3
		志木市秋ヶ瀬運動公園	0.050	11/7	17	富士見中央近隣公園	0.048	11/3	
		館近隣公園	0.059	11/7	17	新町中央広場	0.045	11/3	
8	富士見	びん沼自然公園	0.059	11/17	17	坂戸	入西公園	0.047	11/12
		むさし野緑地公園	0.052	11/17	17	溝端公園	0.045	11/12	
		つるせ台公園	0.047	11/17	17	稲荷久保公園	0.048	11/12	
9	富士見	水子貝塚公園	0.041	11/17	17	坂戸	かっぱ沼公園	0.049	11/12
		みずほ台中央公園	0.047	11/17	17	みどり町公園	0.045	11/12	
		三芳町総合運動公園	0.043	11/23	18	川島町平成の森公園	0.051	11/10	
10	三芳	竹間沢こぶしの里	0.043	11/23	18	川島	八幡中央公園	0.046	11/12
		宮本ふれあいの森	0.033	11/23	19	吉見	下伊草公園	0.057	11/12
		ふじみ野運動公園	0.052	11/20	19	吉見町ふれあい広場	0.066	11/5	
11	ふじみ野	大井弁天の森公園	0.052	11/20	19	吉見	八丁湖公園	0.061	11/5

- ◆空間線量は地上5cm高の測定平均値。単位はマイクロシーベルト毎時(μSv/h)。
- ◆GPS連動のシンチレーション式の放射線計HSFを用いて、徒歩で移動しながら地上高5cmの空間線量を測定しました。
- ◆任意の場所、または、測定中0.1μSv/h以上にセットしたアラームが鳴った場所では、地上高5cm、50cmを定点測定しました。定点測定で自治体の除染基準を上回る空間線量を検出した場合は、直ちに通報、除染をお願いしました。

HSF市民測定所・深谷について

子どもたちを放射線から守りたいと願う市民グループによって、2013年秋に設立されました。高性能なGPS連動型放射線測定器(HSF)を用いて、埼玉県の子どもの集まる場所を中心に、空間線量を測定し、これを見える形で公表します。

▶公開ホームページ：<http://hsfnet.jimdo.com/>

- ◆発行：HSF市民測定所・深谷
- ◆連絡先：電話 090-9829-8558 〈小泉〉
- ◆メール：hsf.fukaya@gmail.com
- ◆配布：3.11 市民ネット深谷
- ◆ホームページ：<http://fukaya311.jimdo.com/>



非売品

公園放射線 MAP10

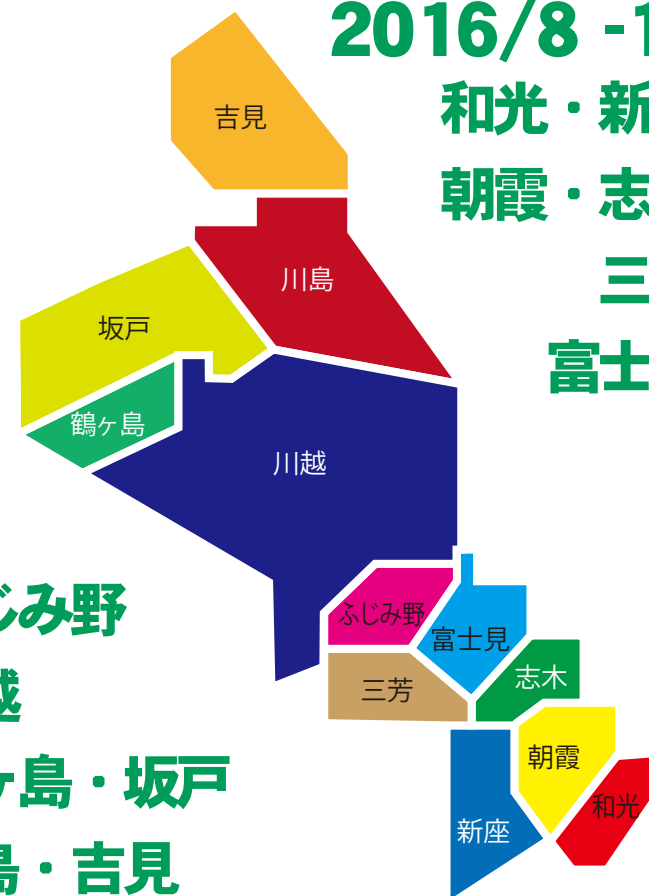
2016/8 - 11

和光・新座

朝霞・志木

三芳

富士見



ふじみ野

川越

鶴ヶ島・坂戸

川島・吉見

2017年1月1日現在、福島第1原発事故で放出された放射性物質セシウムの50.9%が環境中に残っています。空間線量に関しては事故直後の35%にまで低減しています。(数値は理論値)

HSF 放射線見える化プロジェクト埼玉

《市民憩いの公園、樹木の痛みは残念》

和光樹林公園は、約 20ha もある大きな公園です。南側は道を挟んで司法研修所や都立大泉中央公園になっています。ここは、米軍のキャンプドレイク返還に伴い整備された地域の一部です。西側は陸上自衛隊朝霞駐屯地、北側には県立和光特別支援学校や和光国際高校となっています。名前の通り敷地の半数以上は樹林地帯になっていますが、残念なことに樹木の傷みが激しく倒木の恐れがあるのでしょうか、中には入れません。全体を把握するために外周を計測しました。路面は主にアスファルト



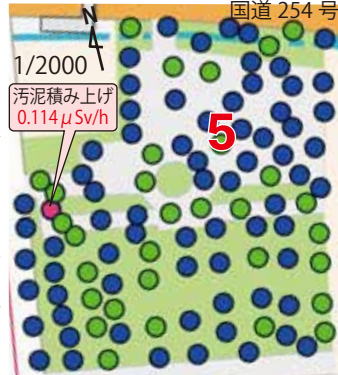
地図上の1・2・3の数字は写真の位置。写真中の数値は定点測定60秒の空間線量。単位は $\mu\text{Sv/h}$ 。0.114以上は赤色表示。

地図上の●●は、歩行測定10秒毎の平均値を色分けしたもので、距離にすると10m程度の範囲。

地表5cmを測定
放射線は光と同様、距離の二乗に比例して減衰する。埼玉のような低線量地区で、地表のセシウムを捕まえるためには、地表付近を測定する必要がある。

《歴史を感じさせる公園、排土は要注意》

R254が北側を通り、西側は和光樹林公園に至る公園通り、東は東京外環自動車道が突き抜けるという位置になります。園内は、南半分が野球やサッカー用のグラウンド、北半分は、古い遊具が設置されている子ども公園です。放射線は一部掃き上げの土砂の濃縮が確認されましたが、全体的には心配ない数値でした。



5 子ども広場 (土)

柿の木坂児童公園 平均 0.060 $\mu\text{Sv/h}$

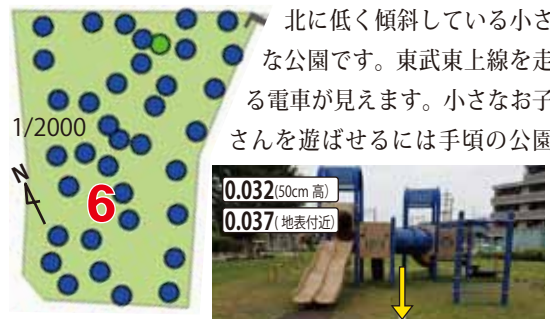
和光市が、武蔵野台地の端に位置し意外と起伏に富んでいるのを初めて知りました。この公園は北方



7 水遊び場の外 (土・砂利)

せせらぎ公園 移動測定平均 0.044 $\mu\text{Sv/h}$

北に低く傾斜している小さな公園です。東武東上線を走る電車が見えます。小さなお子さんを遊ばせるには手頃の公園で、空間線量は低く心配ありません。6 ユニバーサル遊具前 (芝生)



6 ユニバーサル遊具前 (芝生)

測定日：2016年8月14日 8:40～11:10 曇り 微風 (3公園を順に測定)

トで、公園内との境は、土留めの大きな石が積んであり、場所により1段～3段となっています。外周の空間線量は0.072 $\mu\text{Sv/h}$ と若干高めでした。土留め石の影響と思われます。内部は全体的に低線量ですが、部分的に注意が必要な場所もあります。大屋根広場の側溝と西側から南に折れている水路です。セシウムの濃縮が確認されました。



2 健康遊具 (土) 3 三世代遊具 (草・土)



1 800m ジョギングコース (ウレタン)



4 屋根付き広場 雨水受け (土)

測定日：2016年8月15日 9:20～12:30 曇り 微風

$\mu\text{Sv/h}$ という単位について 一般に空間線量は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト/時)、食品や土壌はBq/kg(ベクレル/キログラム)が用いられます。除染基準は空間線量0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上です。また、食品は100Bq/kg以下が国の基準です。原発事故前は100Bq/kg以上のモノは放射性廃棄物として厳重に管理されましたが、事故後は8000Bq/kg以上に引き上げられました。

放射能とは 本来は放射線を放出する能力のことです。放射線には α 線、 β 線、 γ 線とありますが、この冊子の数値は γ 線の測定値です。 γ 線の中で問題となるのは原発事故由来のセシウムですが、この測定値には自然放射線の値も含まれています。測定データを分析して、明らかに自然放射線の影響と思われる場合は、説明をつけています。

《スポーツだけでなく利用者も多い》



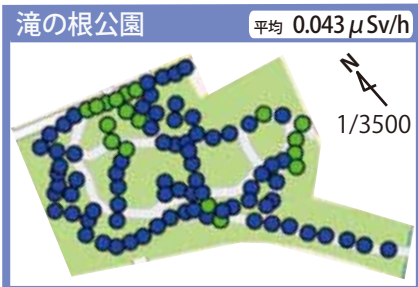
本格的な陸上競技場と野球場がメインの公園です。北西側に突き出るように児童広場があります。清掃は高齢者事業団なのか多くの高齢者が担っているようで、清掃の行き届いた公園です。歩道部分に花崗岩ブロックの敷石を使用していましたので、移動測定はなるべく影響を受けないように行いました。放射線量については、トイレ裏の雨水枡は若干高い数値を示しましたが、全体的には低く特に児童公園は安心できるレベルでした。



1 ユニバーサル遊具 (土)

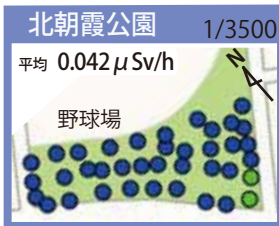


2 陸上競技場南広場 (芝)



内間木公園 移動測定平均 0.053 $\mu\text{Sv/h}$

野球場、テニスコート、弓道場そしてゲートボール場と用途がハッキリした公園で、子ども遊具施設はありません。移動測定の結果は、弓道場裏の木の周りに積まれた捨土でセシウムの濃縮が確認されました。他の部分も若干高い感じでした。

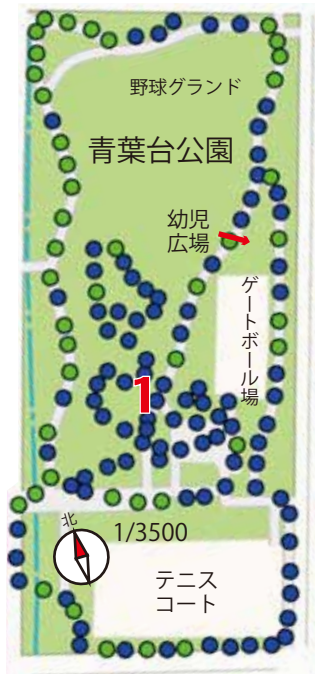


3 テニスコートの裏 (芝生)

測定日: 2016年10月10日 8:45 ~ 17:10 曇り 微風 (P4 ~ P5の6公園を同日に測定)

人工放射能と自然放射能 原発事故で放出されたのは人工放射能、自然界にもともと存在しているものが自然放射能です。みかげ石等の石材・レンガ・碎石の上で計測される高い放射線はほぼ自然放射線と考えられますが、土や芝生の場合にはセシウムの濃縮の可能性が高いようです。HSFは、スペクトル表示で簡易的にセシウムの有無がわかります。

《ともに低線量で安心の公園》



線量はとても低く、まさにクールスポットといえます。



朝霞中央公園から西に国有林、朝霞の森、青葉台公園と続きます。青葉台公園は、子ども遊具が充実しており、この日は祭日ということもあり、たくさんのファミリーで賑わっていました。野球場では少年野球大会が行われており甲高い歓声が聞こえます。放射線量は、子ども広場を中心に入念に行いましたが、特段心配するような箇所はありませんでした。朝霞の森は、国有地を朝霞市が暫定使用しNPO法人あさかフレイパークなどが運営しているとのことです。どろんこコーナー、滑り台、ブランコなどすべて手作りです。2012年開園ということもあり放射



1 ロープジャングルジム前 (土)



2 どろんこ遊び場 (土)

城山公園 移動測定平均 0.044 $\mu\text{Sv/h}$

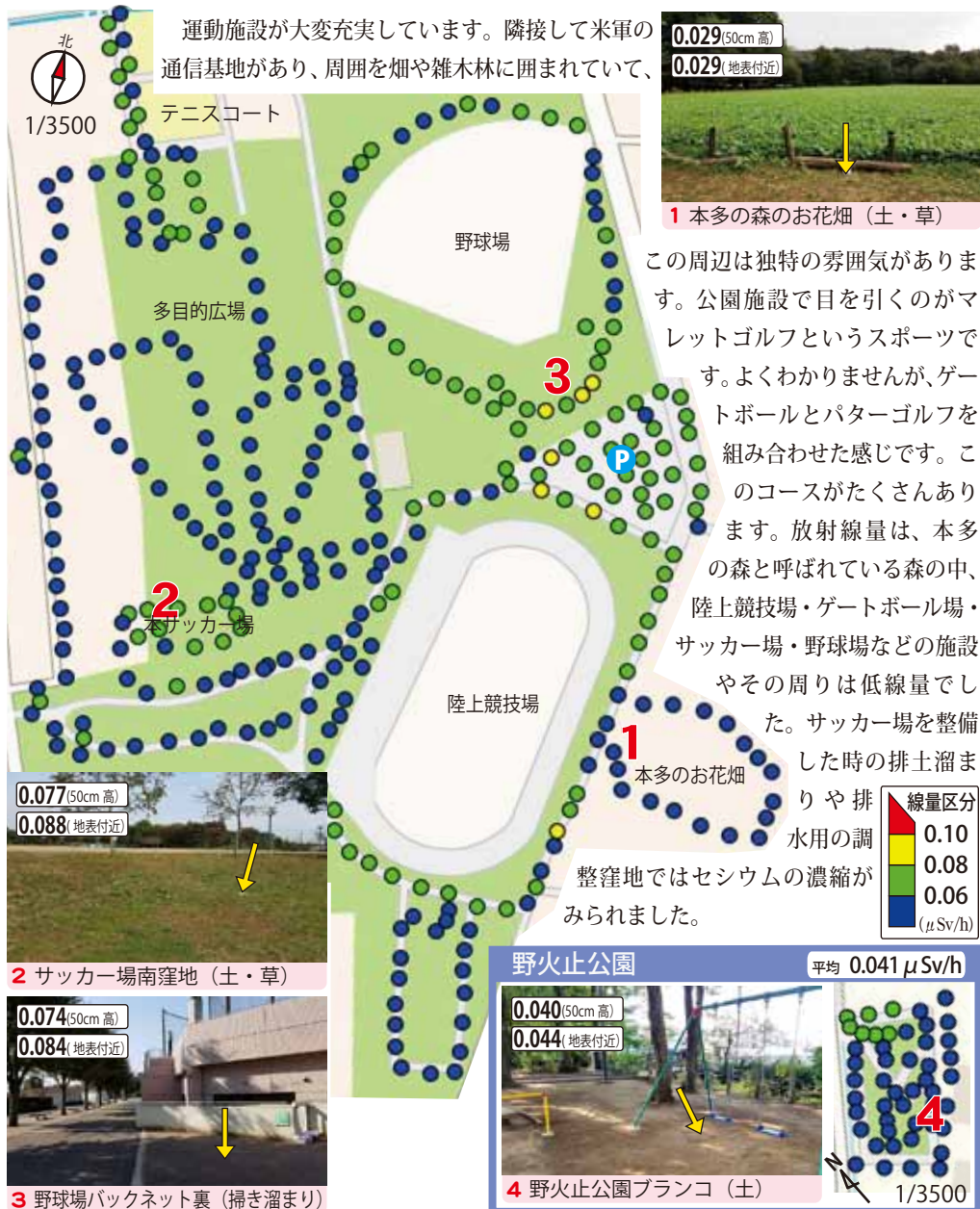


連郭式の平山城跡で「岡の城」と呼ばれています。武蔵野台地の端に位置し北側に黒目川が流れ、自然の要塞としても築城に最適な場所だったのかも知れません。山の中の小道や南東に公園の放射線量は、心配ない数値でした。

3 幼児広場 (土)

自然放射線なら安全か? 自然界には、もともと放射性物質が存在します。野菜や果物、豆類に多く含まれるカリウム40が有名ですが、みかげ石や素焼きレンガの一部からはウラン由来の放射線が測定されます。元京大助教の今西哲二さんは「自然放射線は危ないものであり、それに加えて人工放射線も浴びていると考えるのが妥当」と述べています。

《全体的に低線量だが、ところにより濃縮あり》



測定日：2016年11月7日 新座総合運動公園 8:20～10:20 / 野火止公園 11:10～11:30 晴れ 微風

ホットスポットとクールスポット 環境省は、空間線量率 0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上を除染基準とし、原発事故前を 0.04 $\mu\text{Sv/h}$ としています。本冊子はこれに基づき、0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上の場所をホットスポット、0.04 $\mu\text{Sv/h}$ 以下の場所をクールスポットとします。空間線量率は測定する高さによって値が変わりますが、本冊子は 5cm 高での測定を基準とします。

《概ね低線量、ところにより濃縮を確認》



測定日：2016年11月7日 秋ヶ瀬運動公園 14:00～15:30 / 館近隣公園 12:55～13:40 晴れ 微風

ホットスポットの見つかる場所 広いアスファルトの駐車場の縁、雨水がたまり易い場所がよく見つかります。たいいてい粘土質の土が溜まっています。また排水のU字溝の底の汚泥をさらって積み上げた場所。草地や芝地でも、中央よりは縁、全体的に土地が低くなっている所で見つかることがあります。大木の根元でもときどき見つかります。

新座市除染基準 0.246マイクロシーベルト (地表5cm)

志木市除染基準 0.19マイクロシーベルト (地表5cm)

《溜まり土のセシウム濃縮ポイントに気をつけよう》

園内は、遊歩道、見晴らしデッキ、低めの木製デッキ(2ヶ所)、芝生広場と植樹された雑木林があるだけで、子どもが遊



べるような施設は何にもありません。が、シートを敷いて赤ちゃんを遊ばせるママが何人かいました。静かにピクニックや散歩を楽しむ公園のようです。

空間線量に関しては遊歩道沿いに何カ所かセシウムの濃縮ポイントがありました。地図上の●の部分です。富士見市の除染基準は、地表5cm高で0.23

$\mu\text{Sv/h}$ です。これをわずかに下回る線量です。やや空間線量が高い所もありますが、芝生地と林の中は低線量でした。水際も問題ありません。



1 見晴らしデッキの下 (土・草)



2 多目的広場中央 (芝・草・土)

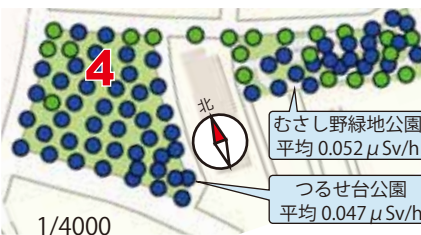


3 公園北の遊歩道の縁 (土・草)

むさし野緑地公園

移動測定平均 0.052 $\mu\text{Sv/h}$

日本で初めてミニ鉄道が走った30年以上の歴史がある公園です。月に1, 2回運転されるそうです。



4 複合遊具の前 (土・砂)

そして徒歩1分ほど離れた「つるせ台公園」、こちらは平日ながら大勢の子どもが遊んでいました。放射能に関しては、両公園とも問題のある場所はありませんでした。

測定日: 2016年11月17日 びん沼公園 10:15 ~ 12:00 / むさし野緑地~つるせ台公園 15:50 ~ 16:20 晴れ 南の風 1m

ホットスポットを発見したら 公園などで0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上の場所を見つけたら、すぐに自治体に通報します。通常は0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上なら除染してくれます。さいたま市や草加市は1 $\mu\text{Sv/h}$ 以上ですが、多くの自治体は地表付近0.23 $\mu\text{Sv/h}$ の線量で除染します。自宅で見つけた場合、理不尽な話ですが、自己責任・自己負担で除染するしかありません。

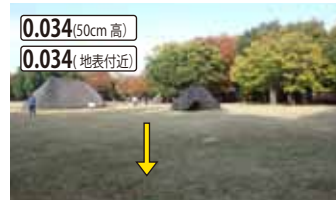
《縄文の村はクールスポット》

水子貝塚の保存と活用のために作られた公園で、広い芝生広場には縄文時代の竪穴住居が復元されています。



公園の東側には、水子貝塚資料館と水子貝塚展示館があります。

はるか縄文の昔に思いを馳せながらの測定です。それにしても縄文時代とセシウム、ちょっと違和感もあります。周囲に復元された森の中、遊歩道、貝塚後に白い陶器片が敷かれた芝生広場と、くまなく測定しました。駐車場にやや高い所もありましたが、公園内の空間線量はとても低く、問題になる場所はありませんでした。



1 復元縦穴住居の前 (芝生)



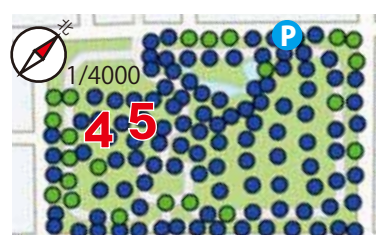
2 広場中央の樹間 (土)



3 広場中央 たき火あと (黒灰)

みずほ台中央公園

移動測定平均 0.047 $\mu\text{Sv/h}$



比較的大きな公園で、大きな木々が心地よい木陰を作っていました。幼児が遊べる遊具や夏の水遊び場があります。芝生広場もありますが、スポーツ施設はありません。

測定時もたくさんのお子どもたちが遊んでいました。

子どもが多いと測定にも気合が入ります。立ち入り可能な場所はくまなく測定しましたが、問題となる場所はありません。子どもたちの遊ぶ様子を安心して眺められました。



4 大型木製遊具の下 (土)



5 スペリ台の降り口 (土・砂)

測定日: 2016年11月17日 水子貝塚公園 13:00 ~ 14:30 / みずほ台中央公園 14:40 ~ 15:30 晴れ 南の風 1m

自宅を除染する 除染したい場所を、放射線計で測定しながら、納得できる線量になるまで土を削ります。深さは5~10cm程度? 厚手のビニール袋(大)を二重にして、これに汚染土を入れます。ビニール袋の汚染土はそのまま、穴を掘って30cm以上の深さに埋めます。このとき出た土の一部は除染部分に覆土し、残りは汚染土の埋設に使います。

《 グラウンドも雑木林も低線量、セシウム濃縮ポイントは1カ所 》



な雑木林でBBQ場があります。多目的広場の一角にやや空間線量の高いポイントがあ

りましたが、その他は非常に低線量でした。



1 多目的広場 北の角 (たまり土)



2 グラウンドの西側 (土・枯草)

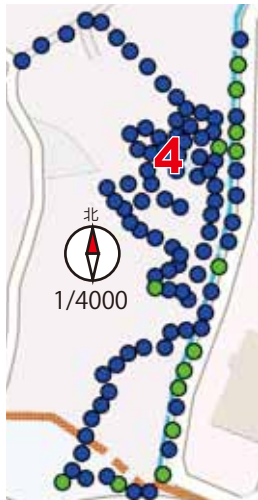


3 自然のレクリエーション公園 (落ち葉・土)

竹間沢こぶしの里

移動測定平均 0.043 $\mu\text{Sv/h}$

高低差のある鬱蒼とした森です。ホタルの見られる公園として知られています。園内の通路だけでなく、川沿い、草地の斜面まで測定しましたが、空間線量はどれも低く、問題のある場所はありませんでした。



4 池の隣、谷の底 (落ち葉・土)

測定日：2016年11月23日 10:50～15:40 曇り 北の風3～4m (3公園は同日に測定)

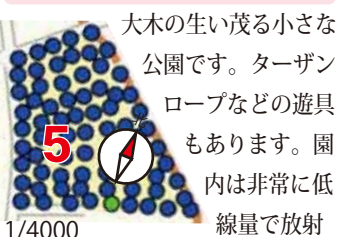
宮本ふれあいの森

移動測定平均 0.033 $\mu\text{Sv/h}$

大木の生い茂る小さな公園です。ターザンロープなどの遊具もあります。園内は非常に低線量で放射能の心配はありません。



5 ターザンロープの隣 (土)



5 池の隣、谷の底 (落ち葉・土)

測定日：2016年11月23日 10:50～15:40 曇り 北の風3～4m (3公園は同日に測定)

雨風で移動するセシウム セシウムは微細な土と結合した状態で風雨によって移動します。2017年1月現在、セシウムは3.11原発事故当時の51%に減っています。広い駐車場の隅の排水の悪い場所では、雨が降るたびに放射線量が高くなる傾向にあります。セシウムは、中央より隅、高い所より低い所、乾燥した所より湿った場所で濃縮されます。

《 運動公園だが、小さな子どもも遊べる公園 》

野球場やテニスコート、弓道場のある運動公園ですが、子供広場や芝生広場などもあり、小さな子どもも遊べる公園です。

空間線量に関しては通路端のたまり土に線量のやや高い場所(地図中の●部分)もありましたが、子どもの遊ぶエリアは線量も低く、問題ありません。



1 芝の小山中央 (芝)

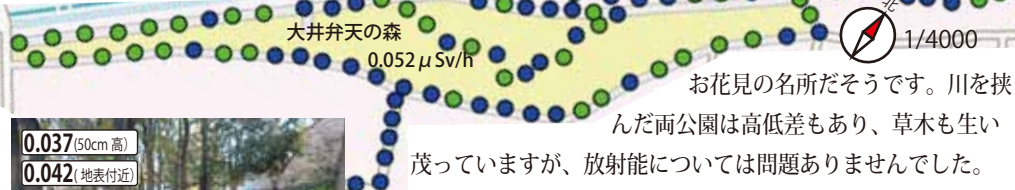


2 芝の小山ふもと (土・枯草)



大井弁天の森公園 / 東原親水公園 平均 0.052 $\mu\text{Sv/h}$

東原親水公園入り口に大きなプラタノドン。弁天の森は、本当に深い森です。



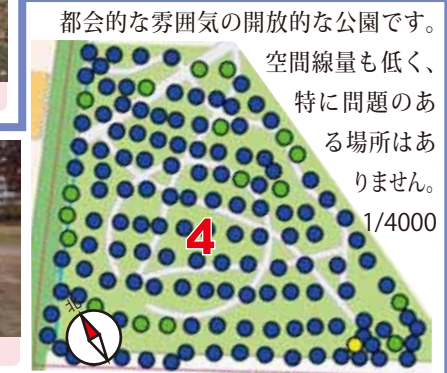
3 公園西の林の中 (土・落ち葉)

福岡中央公園 平均 0.046 $\mu\text{Sv/h}$

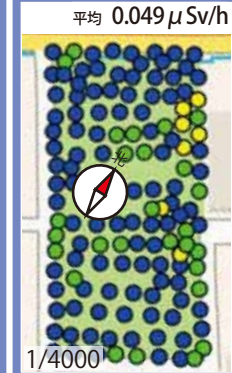
都会的な雰囲気の開放的な公園です。空間線量も低く、特に問題のある場所はありません。



4 芝生広場 中央 (芝生・土)



西ノ原中央公園 平均 0.049 $\mu\text{Sv/h}$



測定日：2016年11月20日 10:20～16:15 曇り 北西の風1～2m (5公園は同日に測定)

年間1mSv 法律が定めた年間被ばく量の限度で、世界基準もこれです。日本政府はあれこれ数字を操作して、0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以下なら大丈夫としています。単純に $1\text{mSv} \div 365 \text{日} \div 24 \text{時間} = 0.114 \mu\text{Sv/h}$ と計算し、当会はこれ以上の場所を「危険」と判断します。同じ被ばく量でも、子どもは大人の10倍も100倍も大きなダメージを受けます。

三芳町除染基準0.23マイクロシーベルト(地表5cm)

ふじみ野市除染基準0.23マイクロシーベルト(地表5cm)

《公園全体がどこでも安心エリア》



健康ふれあい広場



《これだけ広くてもセシウム濃縮ポイントは1カ所だけ》



半減期 放射能は時間の経過で減衰していきます。放射性物質が崩壊して放射能が半分になる時間を物理学的半減期、その場所での放射性物質の流出と再流入の合計が半分になる時間を環境的半減期といい、これは同時に進行します。セシウム134の物理学的半減期は2年、セシウム137は30年です。環境的半減期は除染や清掃によっても短縮されます。

【セシウムの物理的半減期に則った空間線量率の低減】セシウムの物理的半減期と空間線量率の低減のスピードは異なり、物理減衰以外の要因により空間線量率の低減は早く進むといえます。

経過年数(2011年3月から)	0年	0.5年	1年	2年	3年	4年	5年	10年	20年	30年
空間線量率の低減(理論上)	100%	89%	79%	63%	52%	44%	38%	25%	18%	14%

《みんなが遊べる公園、園内はどこも低線量》

伊佐沼沿いの細長い公園で、桜まつりや小江戸川越花火大会でも有名です。アスレチックのある冒険の森、バーベキュー場、水遊び場、芝生広場と、ここは遊ぶための公園です。日曜日の測定でしたが、多くの幅広い年代の人で賑わっていました。

1 多目的広場中央 (芝生) 0.040(50cm高) 0.041(地表付近)

2 ターザンロープ隣 (土・草) 0.057(50cm高) 0.066(地表付近)

空間線量に関しては、園内を南端から北端まで細かに測定しましたが、公園内はほぼ問題なしで、埼玉の平均的な線量です。駐車場側がわずかに高めの線量でした。

初雁公園 移動測定平均 0.050 μ Sv/h

旧川越城の本丸跡、本格的な野球場があります。遊具広場もあり、隣の塚の急斜面を小さな子どもたちが上り下りして遊んでいました。遊具広場の線量は低く、泥だらけになっても大丈夫。

3 遊具隣の広場 (土・枯葉) 0.047(50cm高) 0.045(地表付近)

4 スベリ台の隣 (土) 0.044(50cm高) 0.043(地表付近)

幼稚園や小中学校に隣接しており、地元子どもたちが遊ぶ公園です。空間線量も問題となる場所はなく、ごく平均的な線量です。通路端がわずかに高めでした。

測定日：2016年10月23日 伊佐沼公園 10:40～11:50 / 初雁公園 15:35～16:30 曇りのち晴れ 東の風1～2m

放射線測定器について エアカウンターは半導体式、テラやRADEXはガイガー管式、当会のHSFやホリバはシンチレーションです。測定の条件にもよりますが、テラやRADEXは、HSFやホリバの倍くらいの数値を示すことがあります。HSFの値はホリバよりも1～2割低い値。安価なものでも、DC-100(2万円程度)はホリバと同様の数値が出ます。

《外周道路、駐車場に注意、園内はおおむね低線量》

本格的な運動施設が整った公園ですが、広い芝生の自由広場や子ども遊具広場があり、ピクニックや散歩を楽しめます。子どもの利用するエリアの空間線量は低めですが、遊水池の周りや外周道路、駐車場が若干高めです。0.1 μ Sv/hを超えるポイントもありました。

1 遊具広場 (砂地) 0.035(50cm高) 0.035(地表付近)

2 自由広場の中央 (芝生) 0.045(50cm高) 0.047(地表付近)

3 駐輪場へり (たまり土) 0.093(50cm高) 0.129(地表付近)

調整池の隣 0.101 μ Sv/h

道路端のたまり土 0.140 μ Sv/h

線量区分 (μ Sv/h)
 0.10 テニスコート
 0.08
 0.06

測定日：2016年10月23日 12:20～15:20 晴れ 東の風1m

多くはたまり土の除去で解決するレベルです。

笠幡公園 移動測定平均 0.040 μ Sv/h

公園外周部は草をかき分けての測定となりました。関越道の真下ですが、意外と線量は低い。園内中央部とも問題のない空間線量でした

4 スベリ台の前 (土) 0.030(50cm高) 0.031(地表付近)

測定日：2016年10月21日 14:40～15:40 晴れのち曇り 北東1～2m

大宮公園でホットスポット 2016年5月大宮第2公園駐車場で1 μ Sv/h超のホットスポットを発見しました。駐車場の縁にたまる土を5年間にわたって積み上げたそうです。通報後、県は速やかに除染を完了、現在は除染基準値以下になっています。埼玉では考えられない高い汚染ですが、原発事故は今も続いていることを改めて思い知らされた事件でした。

《鶴ヶ島市はホットスポットを迅速かつ徹底的に除染した》



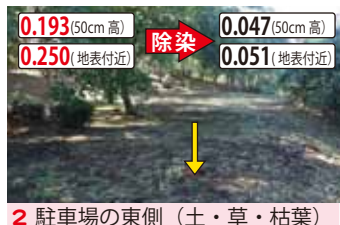
スポーツ施設が揃っている運動公園で、複数の野球グラウンドや多目的広場があります。スポーツ施設以外にも、釣りを楽しめる太田ヶ谷沼、自然観察の森、親水広場、遊具広場などがあり、家族連れでのピクニックや散歩などにも適しています。

開放スペースのすべてを測定しましたが、空間線量の高いポイントが数カ所ありました。写真2のポイントは鶴ヶ島市の除染基準を超えるホットス

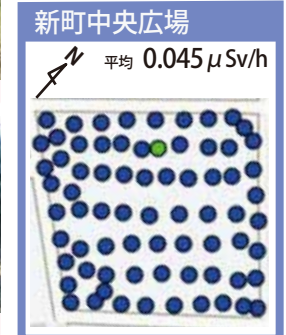
ポットで除染を要請したところ、市は迅速かつ徹底的な除染を行い、その結果は市のホームページにも掲載されました。その他の●の地点は主に

線量区分
 0.10
 0.08
 0.06
 (μSv/h)

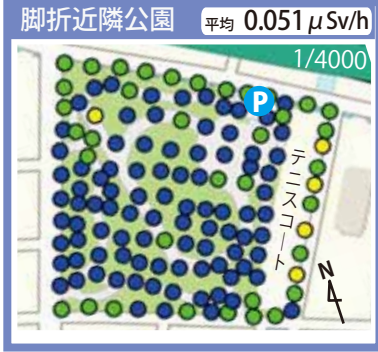
に通路端のたまり土で、0.1 $\mu\text{Sv/h}$ 前後の線量です。



2 駐車場の東側 (土・草・枯葉)



1 遊具とトイレの間 (土・草)



2 小山の頂上付近 (土・枯葉)

《芝生広場も水辺も安心して遊べる》

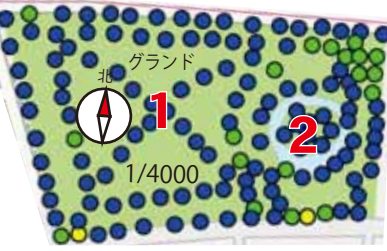


1 芝生広場中央 (芝生) 域住人が利用する公園です。水遊び場の部分は全面舗装されており、ここは外周のみ測定しました。広い舗装

子どもの遊具や運動施設はありませんが、広々とした多目的広場や水遊び場があります。駐車場もなく、地



2 小山の頂上付近 (土・枯葉)



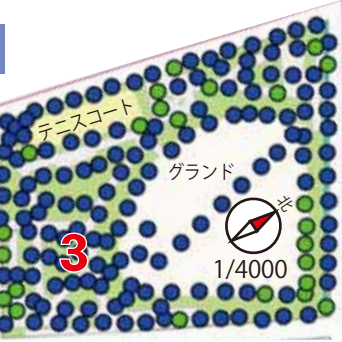
面の場合、排水が悪いと緑や隅にセシウムが溜まりやすいのですが、ここでは、そうした場所はありませんでした。

溝端公園 平均 0.045 $\mu\text{Sv/h}$

市内最大規模の公園ということで、野球場、テニスコートがあります。遊具広場には、微妙にレトロな遊具がたくさんあります。空間線量に関しては、問題を感じる場所はなく、安心して遊べる公園だと思います。



3 ミニパーク遊具の隣 (土・砂)



稲荷久保公園 平均 0.048 $\mu\text{Sv/h}$

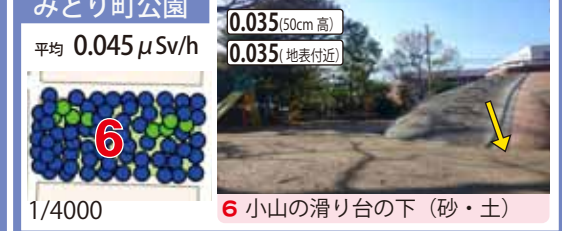
グラウンドの縁や植え込みの隅でセシウムの濃縮ポイントがありました。たまり土やかきあげ土です。他の場所は低線量なので残念な結果です。



5 南小側の入口付近 (かき揚げ土)

かっぱ沼公園 平均 0.049 $\mu\text{Sv/h}$

グラウンドの縁や植え込みの隅でセシウムの濃縮ポイントがありました。たまり土やかきあげ土です。他の場所は低線量なので残念な結果です。



4 シーソーの隣 (芝・草)

みどり町公園 平均 0.045 $\mu\text{Sv/h}$



6 小山の滑り台の下 (砂・土)

測定日：2016年11月3日 10:00～16:00 晴れ 北西の風2～4m (4公園を同日に測定)

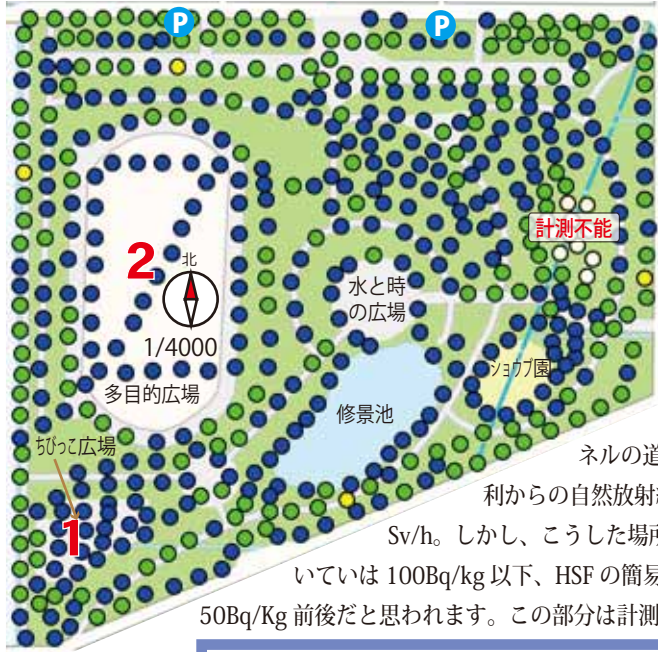
測定日：2016年11月12日 9:45～14:20 晴れ 北西の風3m (5公園を同日に測定)

土壌検査 土を食品のように検査し、放射線量はBq/kgで示されます。埼玉の平均は100～130Bq/kgと思われます。空間線量にはなかなか反映せず、5cm高0.05 $\mu\text{Sv/h}$ で300Bq/kgという事例もありました。除染基準0.23 $\mu\text{Sv/h}$ を超える場所で数千Bq/kg、大宮第2公園のホットスポット(1 $\mu\text{Sv/h}$)の除染前は20,000Bq/kg以上と考えられます。

薪ストーブの灰 薪ストーブの燃焼灰はセシウムを200倍以上に濃縮します。400Bq/kg以上の灰を畑に撒くことは禁じられています。薪(ペレット)ストーブユーザーは必ず、灰の検査をするべきです。2014年7月、当会が東松山市岩鼻公園で発見した1 $\mu\text{Sv/h}$ 超のホットスポットも、燃焼灰の不法投棄が原因であったと思われます。

《いろいろあって楽しめる総合公園、放射能の心配はなさそう》

計画されたのが"平成元年"だったことから、これを記念して「平成の森」と命名されたとのこと。園内には、多目的広場、芝生広場、水遊び場、アスレチックコーナー、日本一長い「バラのトンネル」、シヨウブ園、ちびっこ広場、まさになんでもありの総合公園です。

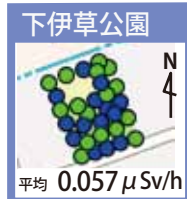
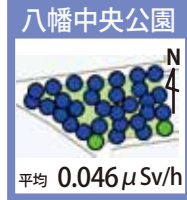


1 子ども遊具前(砂・土)



2 多目的広場中央(芝)

平日の測定でしたが、ほどほどの人出です。空間線量に関しては全く問題ありません。バラのトンネルの道と小山の頂上に撒かれた白い小砂利からの自然放射線が高く、計測値は0.08~0.1 μ Sv/h。しかし、こうした場所の土壌のセシウムを測定するといては100Bq/kg以下、HSFの簡易核種分析のグラフから判断しても50Bq/Kg前後だと思われます。この部分は計測不能○表示しました。



八丁湖は人工湖だそうです。湖畔と丘陵がハイキングコースになっており、「黒岩横穴墓群」という遺跡もあります。

舗装された遊歩道の測定が中心となったため、線量はやや高めです。周辺の丘陵からの雨水が、

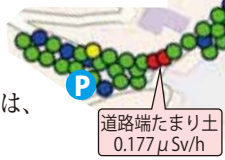


2 黒岩横穴の公園内(土・草・芝) やや高めの空間線量でした。



1 湖西側の通路(たまり土)

道路わきに溜まるためと思われます。森の中の線量は低めでした。「黒岩横穴墓群」の広場(写真2)は窪地で、公園の広場としては、



《中央広場にミニホットスポット、吉見町は迅速に除染完了》

本格的な陸上競技場のある運動公園ですが、大型複合遊具などもあり、小さな子どもも遊べる総合公園です。子どもの遊び場や芝生広場は低線量ですが、中央広場と東駐車場にセシウム濃縮ポイントがあり、写真3のポイントは除染をお願いします。吉見町の対応は素早く、直ちに除染を実施しました。ついでに駐車場の清掃もお願いしておきました。



1 大型遊具の隣(芝・草・土)



2 芝生広場中央(芝生)



3 多目的グラウンドの角地(芝・枯葉) 除染

平均 0.061 μ Sv/h



測定日: 2016年11月10日 10:30~13:30 晴れ 南東の風1~1.5m / 八幡・下伊草公園 11月12日 15:30~16:10

測定日: 2016年11月5日 八丁湖 9:40~12:30 ふれあい広場 12:50~16:00 晴れ 南東の風1m

除染基準 国の除染基準は0.23 μ Sv/hです。埼玉県はHPでは1 μ Sv/hと読めますが、県の担当者によると0.23 μ Sv/hのようです。市町村の除染基準は1・0.23・0.19(μ Sv/h)、測定高も100・50・5(cm)・地表とさまざま、統一基準はありません。私たちがホットスポットを発見した場合は、各市町村の除染基準で除染を要請しています。

支援のお願い HSF市民測定所・深谷は、放射能から子どもを守ることを目的に、市民有志によって設立されました。既存の団体とは一切関係なく、ボランティアと市民からの寄付で運営しております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。 ● ゆうちょ銀行: 普通 10390-82989741 口座名: H S F 市民測定所・深谷(エイチエスエフシメツケイジ ョフカヤ)